

2026年4月23日

シミュレーターによる運転士体験や昔の車両見学ができる 「阪神電車まなび基地」2026年度親子見学会 参加者募集！

～昨年度応募者多数により、参加枠を増枠！～

～6月20日（土）、7月18日（土）に計80組160名さまをご招待～

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：久須勇介）は、尼崎センタープール前駅高架下にある「阪神電車まなび基地」で、6月20日（土）・7月18日（土）に2026年度親子見学会を開催します。

親子見学会では、大正・昭和時代に活躍した保存車両の見学や、鉄道に関する仕事や安全対策について学べるほか、大人気の運転士養成用シミュレーター機器（模擬運転台）を使った運転士体験（お子さまのみ）、実物の踏切や信号・軌道などの施設見学を行います。

毎年、多数の応募があることから、昨年度を上回る計80組160名さま（昨年度：60組120名）をご招待します。

応募期間は4月24日（金）～5月11日（月）です。皆さまのご応募をお待ちしています。詳細は次ページ以降のとおりです。

阪神電車まなび基地ではこんな体験ができます！

鉄道の安全を守る仕事学べる！

昔の阪神電車に乗れる！

運転士体験もできるよ！

参加者募集！

阪神電車まなび基地 親子見学会

阪神電気鉄道
HANSHIN ELECTRIC RAILWAY CO.,LTD.

「たいせつ」がギュッと。
Hanshin Group

「阪神電車まなび基地」親子見学会とは

阪神電車への理解と親しみを深めていただき、地元の鉄道としてより身近に感じていただくことを目的として、当社開業110周年となる2015年から行っているもので、今年で12年目の開催となります。

【「阪神電車まなび基地」2026年度親子見学会の概要】

- 主催：阪神電気鉄道株式会社
- 共催：阪急阪神ホールディングス株式会社

1 開催日時及び募集期間

	開催日	実施時間	募集期間	当選落選の通知方法
第1回	6月20日(土)	10:00～11:30	4月24日(金) ～5月11日(月)	5月15日(金)に 当選者にのみメールで通知
第2回		12:50～14:20		
第3回	7月18日(土)	10:00～11:30		
第4回		12:50～14:20		

- ※定員は各回20組40名です。
- ※応募者多数の場合、抽選となります。

2 会場

阪神電車まなび基地 尼崎市水明町373
(尼崎センタープール前駅下車 西へ徒歩約3分 高架下)

3 内容

- ・大正～昭和時代に活躍した601形、1141形車両の見学
- ・運転士養成用シミュレーター機器（模擬運転台）を使用した運転士体験
- ・阪神電車の今と昔、鉄道に関する仕事や安全対策についての学習
- ・実物の踏切や信号・軌道などの施設見学

4 募集対象

小学生のお子さまを含む親子2名一組（無料）

5 応募方法

以下のURL、又は右の二次元コードから必要事項をご入力ください。

<https://e.cnz.jp/sv/a8ee/mJTeJwXK>



6 お客さまからのお問合せ先

阪神電気鉄道 経営企画室（広報担当） TEL：06-6457-2130
(平日8:45～17:45)



「阪神電車まなび基地」2026年度親子見学会は、当社が子どもたちに阪神電車と親しむ機会をお届けする取組みであることから、「未来にわたり住みたいまち」をつくるために「地域環境づくり」と「次世代の育成」を重点領域として推進する阪急阪神ホールディングスグループの社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」の一環として実施します。

< 注意事項 >

- ※未就学児の同伴も可能ですが、その場合、保護者の方の監督責任のもと、安全にご注意いただいたうえで、ご参加ください。
- ※運転士体験につきましては、当選のお子さまのみのご参加とさせていただきます。
- ※会場内は、階段、段差がありますので、ご参加の際はご注意ください。
- ※万一、ほかのお客さまのご迷惑になるなど、見学会の運営に支障を来たす場合は、ご退出をお願いする場合があります。
- ※見学会における参加者の負傷などその他一切の事件・事故についての責任は負いかねます。
- ※いただいた個人情報、抽選結果のご連絡、当施設のイベント情報のお知らせ及びマーケティング調査に利用させていただきます。その他の用途には利用しません。
- ※見学会当日、写真撮影を行う場合があります。撮影した写真は、記録や今後の広報媒体への掲載等に利用させていただきます。

阪神グループは、「“たいせつ”がギュッと。」のブランドスローガンの下、これからも一人ひとりのお客様の“たいせつ”と向き合い、グルーパー丸となって阪神らしいブランド体験を提供し続けることで、その信頼と期待に応えてまいります。



以 上